

大鳥居は1929年に竣工。完成当時は日本一の大きさを誇り、2度の修築と再塗装を経て現在に至る。



いいモノコト

歩くと
見つかる

太閤通
駅編



- 3 大鳥居の下にあるモニュメント。名古屋城の石垣を思わせる土台の上に飾られているレリーフは江戸時代に流行した「絵本太閤記」の挿絵をモチーフにしている。
- 4 中村天神社の拝殿の隣には豊川稲荷と伏見稲荷の分社もある。いずれも商売繁盛や五穀豊穡のご利益があるといわれるので併せて参拝したい。

下級武士から天下人にまで 上りつめた豊臣秀吉の生誕地、 中村の魅力再発見

名古屋まつりにも登場する織田信長と豊臣秀吉、徳川家康の「三英傑」。名古屋の人々に人気なのは、尾張国愛知郡中村郷（現在の愛知県名古屋市中村区）で生まれ、下級武士から天下人にまで上りつめた秀吉でしょう。

2023年5月、中村区役所の移転に伴い、地下鉄桜通線中村区役所駅が太閤通駅に駅名が変わりました。太閤通の太閤とは言うまでもなく秀吉のことであり、駅名変更で中村区界隈が秀吉ゆかりの地であることが伝わってきます。

太閤通駅から中村公園駅へ向かって歩いていくと、道沿いに秀吉が生まれてから天下統一を果たすまでの大出世ストーリーを紹介したモニュメントが目を見せます。

名古屋駅西口から中村の大鳥居まで約3kmの間に計30カ所もあり、このルートは「人生大出世夢街道」と名付けられています。秀吉ファンや歴史好きの方は要チェックです。

太閤通駅と中村公園駅の中間くらいに中村天神社という小さな神社があります。もともと名古屋城の東側の三之丸清水御門の社に祀られていましたが、明治43年（1910年）にこの地へ移されました。御祭神は菅原道真公で、多くの受験生が参拝に訪れるほか、毎年1月初旬の日曜日には合格祈願祭も執り行なわれています。

今回、いちばん驚いたのは豊國神社の参道に建てられた中村の大鳥居。これまでは車で通りかかった際に車窓から眺めている程度でしたが、大鳥居の前に立つと、その大きさに圧倒されました。

歩き疲れたので、大鳥居のすぐ横にある創業80余年の老舗和菓子店「孝和堂本店」でひと休みすることに。毎日生小豆から炊き上げて作る餡がたっぷりの「おはぎ」と秀吉の馬印である千成瓢箪を模した縁起の良い「豊太閤もなか」をいただきました。素朴な味わいに疲れも癒やされました。



餡の甘さと食感が絶妙な「おはぎ」220円(税込)と、パリッと香ばしい皮と餡のバランスが秀逸な「豊太閤もなか」190円(税込)。店主自ら手摘みした蓬を使った「草餅」250円(税込)も人気だ。

筆者Profile
フードライター&
カメラマン
永谷 正樹



名古屋の食をテーマに、雑誌やネットメディアなどの取材・撮影を担当。なごやめしにまつわる講演やテレビ出演も多数。ブログ「永谷正樹、という仕事。」を毎日更新中。



店舗情報
孝和堂本店

住所/中村区鳥居通5-32
TEL/052-471-6246 定休日/月曜(祝日は営業)
営業時間/8:30~18:30
※価格は12月1日時点

